

INFILED

VMP

Vision Management
Platform

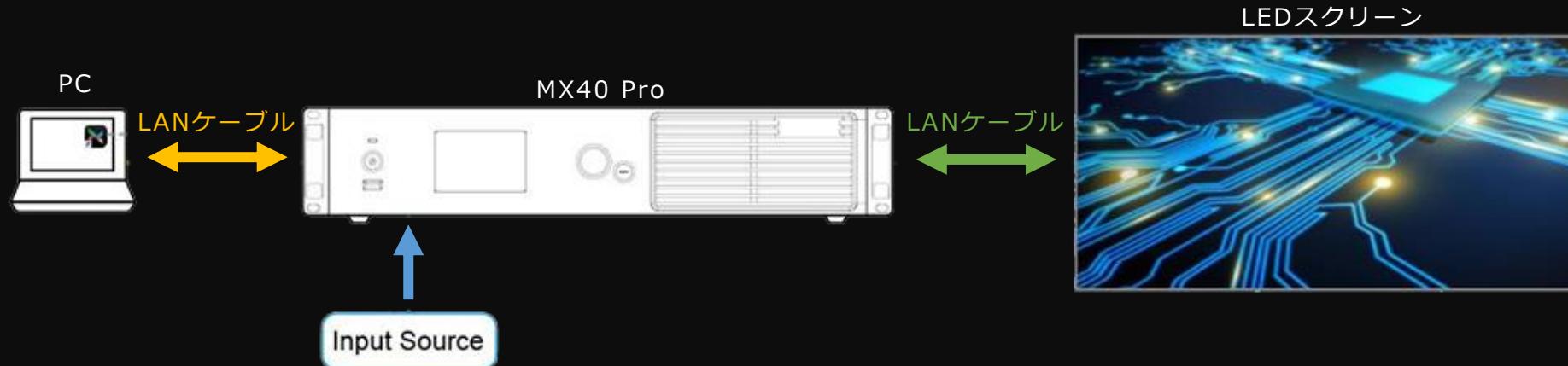
www.infiled.com



VMP インターフェイス

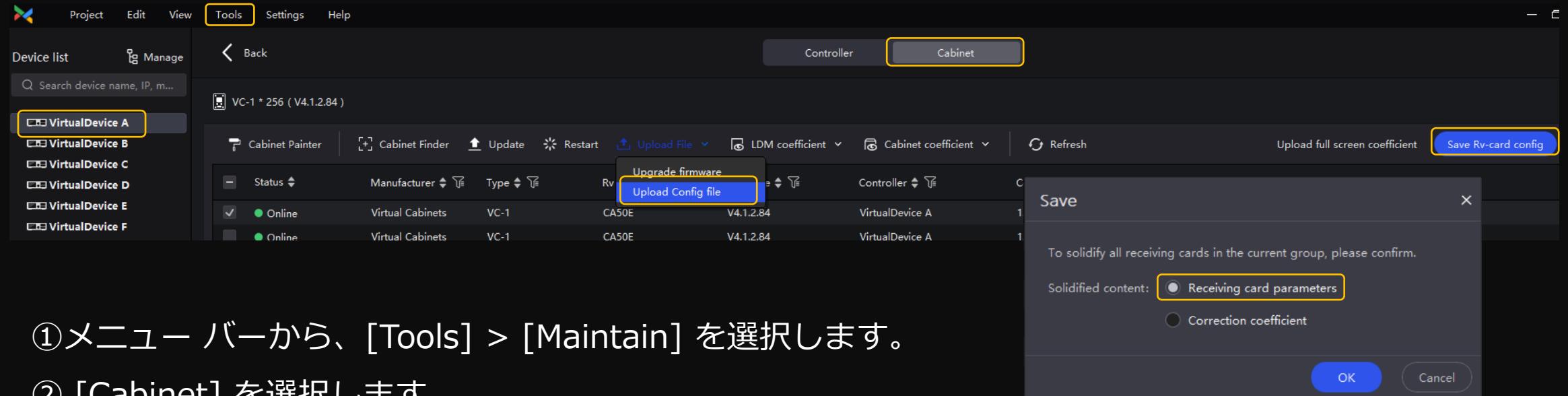
メニュー
バー

コントローラと接続



- ①コントローラーのノブを押してメニューに入り、[Communication Settings] > [Network Settings] を選択します。
- ② [Manual] を選択
- ③IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを設定し、コントローラと制御 PC が同じ ネットワーク セグメント上にあることを確認します。
- ④設定後[Apply] を選択し、ノブを押します。

.rcfgxファイル (構成ファイル)



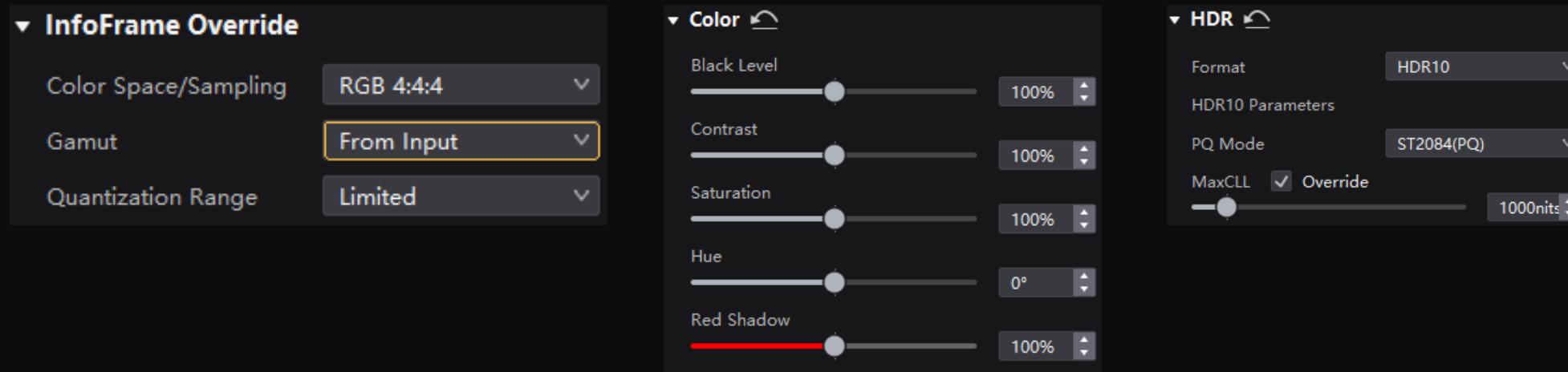
- ①メニュー バーから、[Tools] > [Maintain] を選択します。
- ② [Cabinet] を選択します。
- ③左側のデバイス リストからコントローラーを選択、キャビネットに関する情報が表示されます。
- ④ キャビネットを選択し、[Upload File] を選択、ドロップダウンから [Upload Config file] を選択します。
- ⑤ローカルファイルから[rcfgx] を選択、[Save Rv-card config] を選択し保存します。
- ⑥[Receiving card parameters] を選択し、[OK] をクリックします。

入力ソース



- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Source]を選択します。
- ②ページ下部のソースをダブルクリックするか、右側のプロパティ エリアの [ソースの選択]します。
- ③右側のEDID解像度とリフレッシュ レートを設定し、[Apply] を選択します。

| 入力ソース

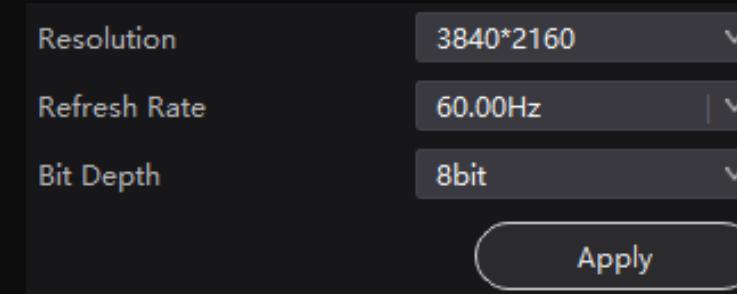
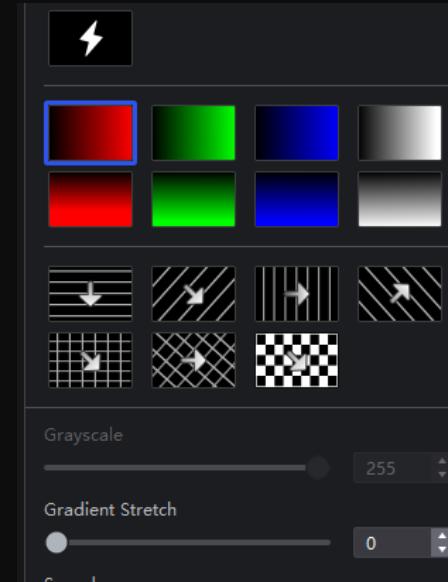


インフォフレームオーバーライド：カラースペース/ガンマ/レンジを調整します。

カラー：スライドを調整しパラメータを調整します。

HDR：HDRフォーマットを選択します。

テストパターン



- ①ページ下部のソースをダブルクリックするか、右側のプロパティ エリアの [Internal Source]を選択します。
- ②テストパターンをクリックすると表示されます。
- ③パラメータを調整し[Apply]を選択します。
- ④ [+] を選択すると静止画を3つまで追加できます。

スクリーンレイアウト



①10/16

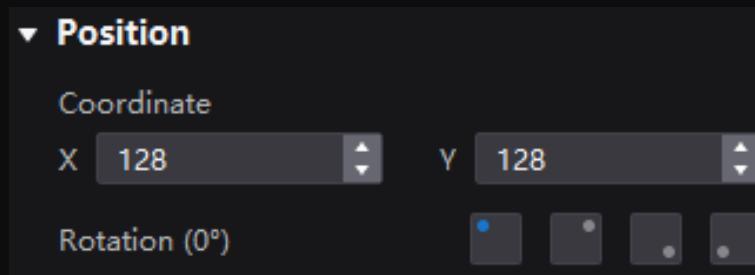
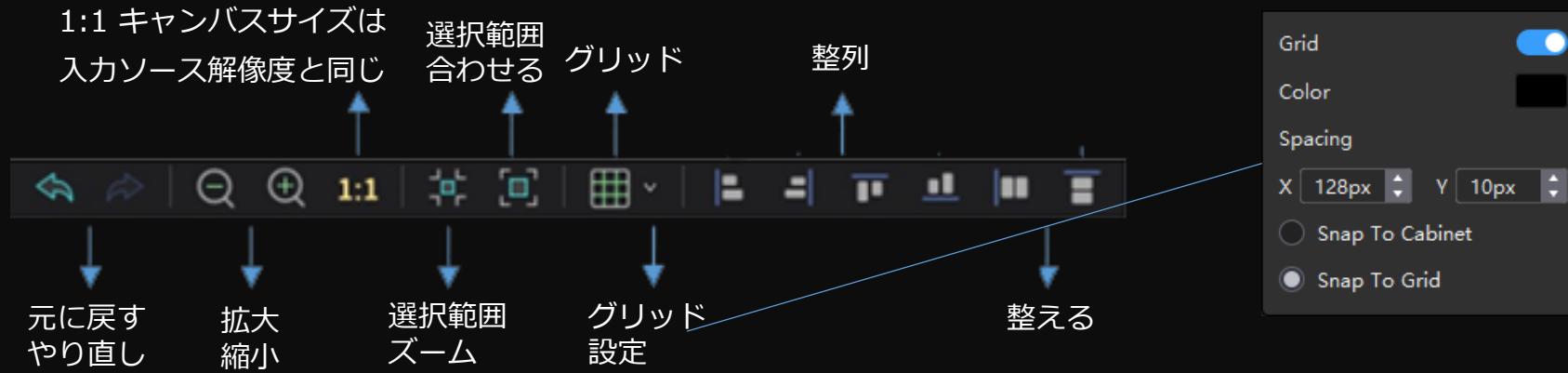
出力ポート1は16パネル接続、10パネルレイアウトで接続、64%の容量を使用

②16/16

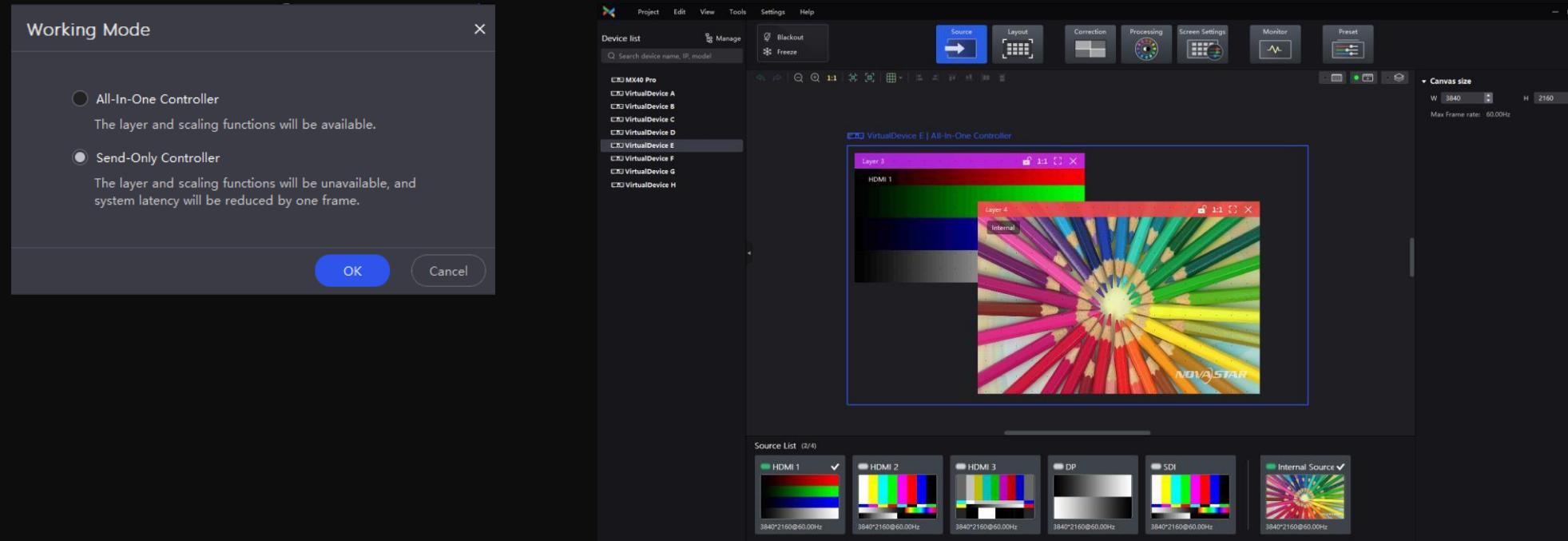
出力ポート2は16パネル接続、16パネルレイアウトで接続、102%の容量を使用

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Layout]を選択します。
- ②ページの下部の出力ポートを選択し、キャンバス内をクリックしパネルを配置します。

スクリーンレイアウト

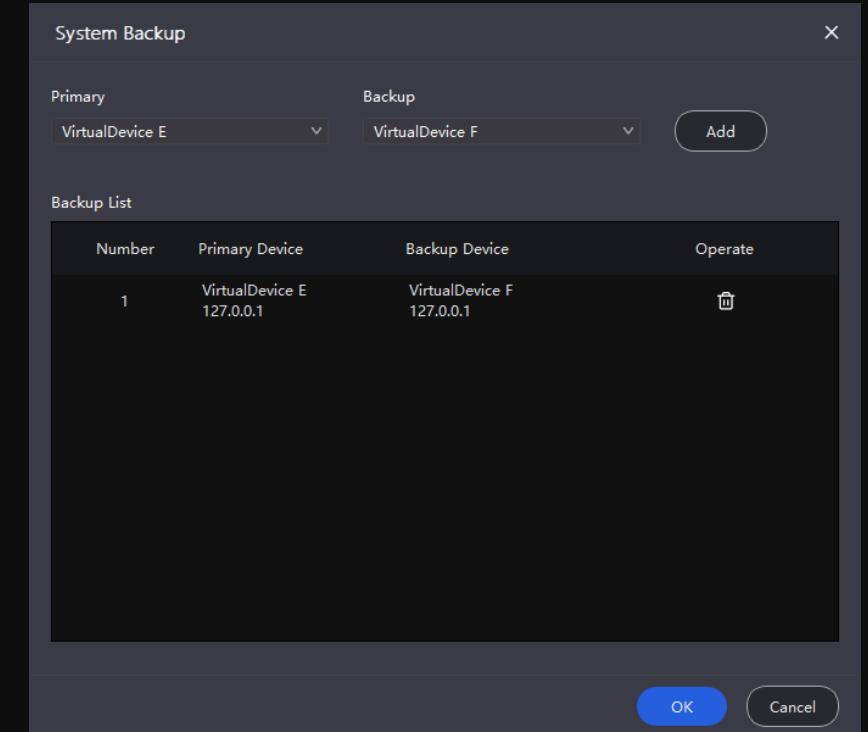
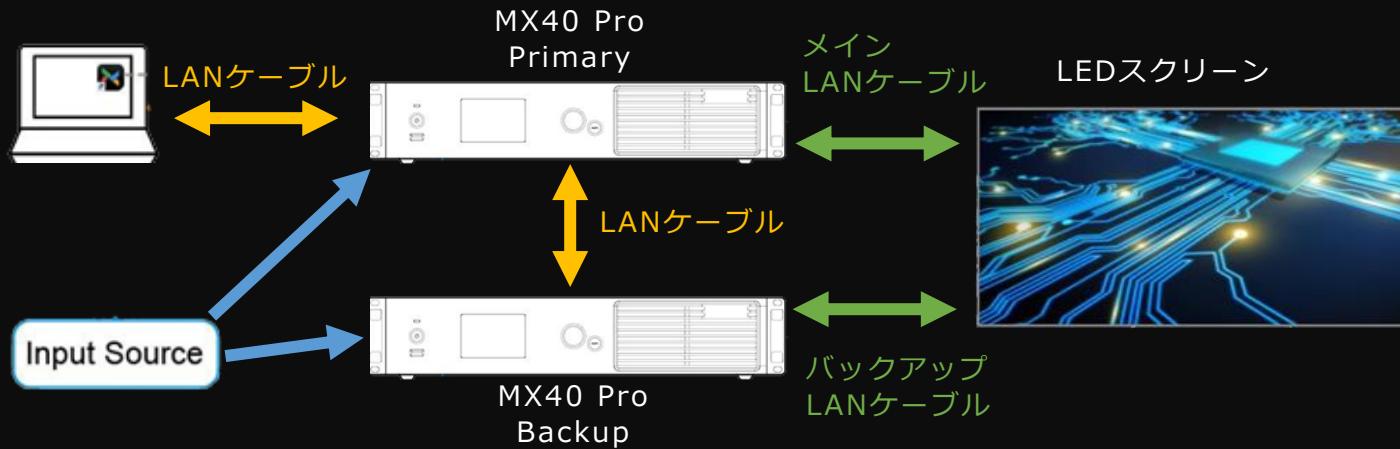


オールレインワンコントローラ



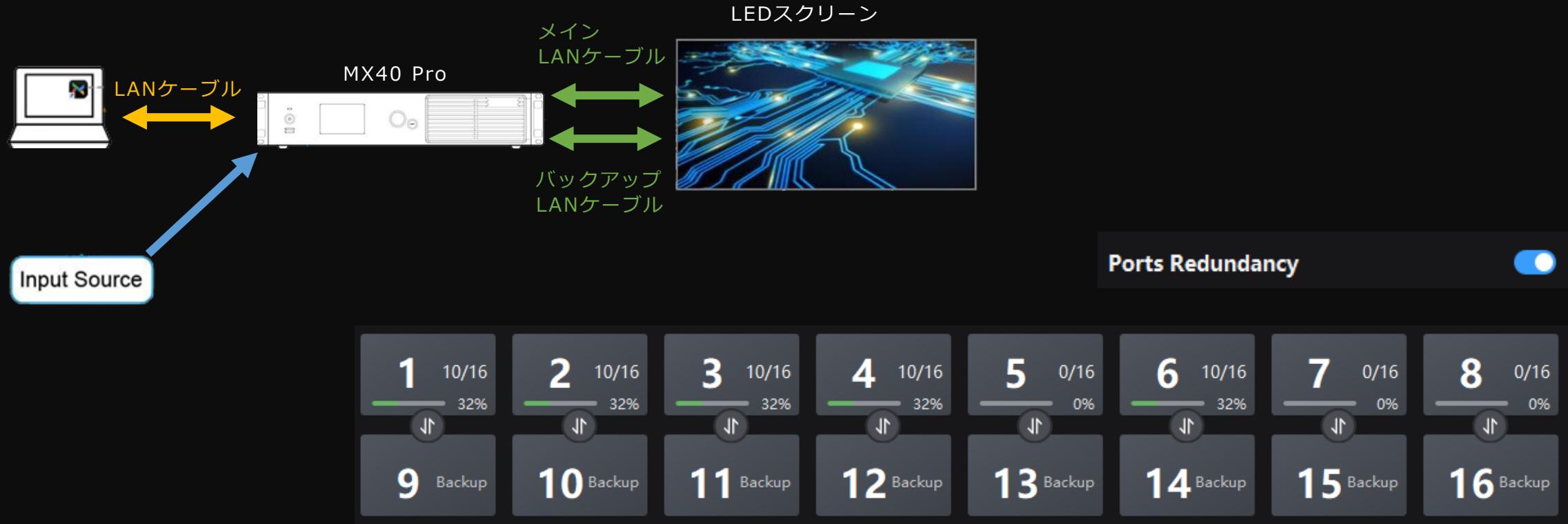
- ①左側のデバイスリストを右クリックし[Working Mode]を選択し、[All-In-One-Controller]を選択します。
- ②入力ソースを選択し、プロパティエリア又はキャンバスからサイズを変更します。
- ③レイヤーを追加するには、下部にあるソースのサムネイルをダブルクリックします。

デバイス バックアップ



- ①コントローラと制御 PC が同じネットワーク セグメント上に設定します。
- ②[Tools]>[System Backup]を選択します。System Backup ボックスが表示されます。
- ③ドロップダウン オプションからプライマリとバックアップをそれぞれ選択し[Add] を選択します。

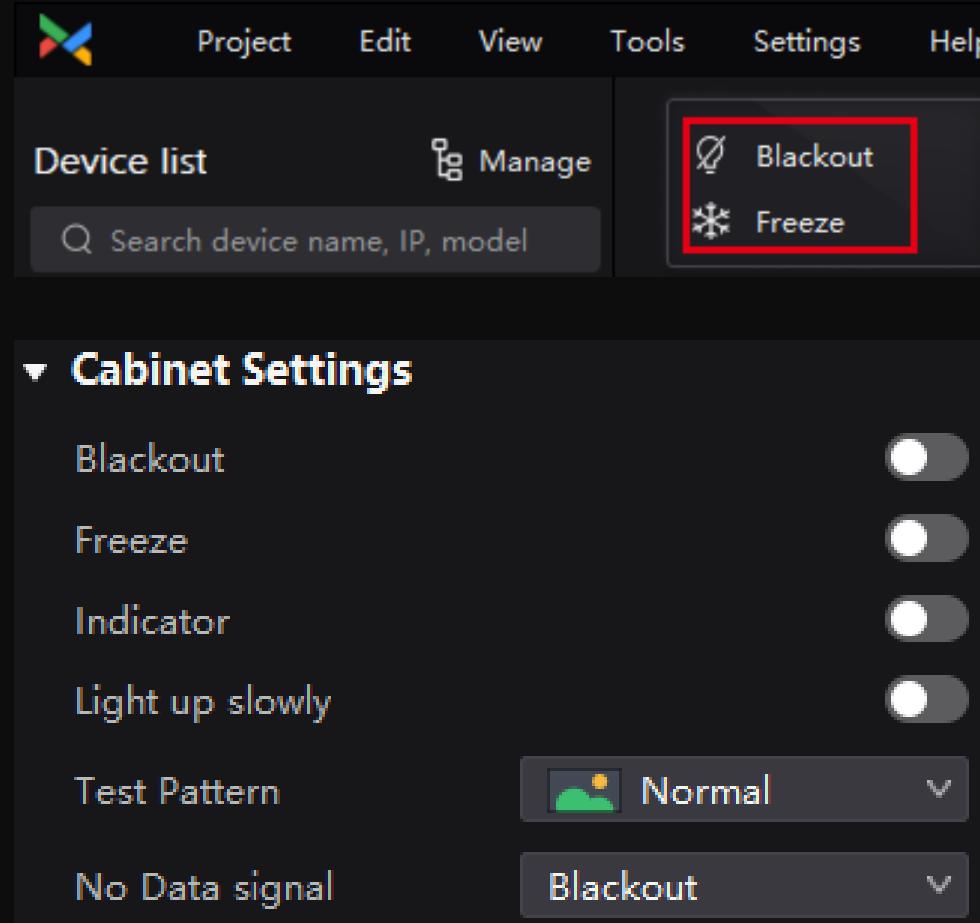
ポートバックアップ



①右下の[Port Redundancy]を選択します。ポートバックアップが表示されます。

②表示されたポートがバックアップとなります。

コントロールディスプレイ



The screenshot shows the software interface with a menu bar (Project, Edit, View, Tools, Settings, Help) and a toolbar with 'Device list', 'Manage', and a search bar. The 'Settings' tab is active, showing the 'Cabinet Settings' panel. This panel includes options for 'Blackout' (disabled), 'Freeze' (disabled), 'Indicator' (disabled), 'Light up slowly' (disabled), 'Test Pattern' (set to 'Normal'), and 'No Data signal' (set to 'Blackout'). The 'Blackout' and 'Freeze' buttons in the toolbar are highlighted with a red box.

スクリーン
ブラックアウト/フリーズ



選択したパネル
ブラックアウト/フリーズ

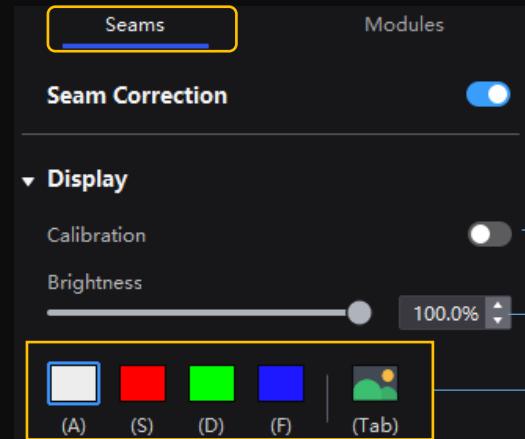
PDU緑色インディケータ
点灯しません

選択したパネルは電源を入れた後
明るさが[0]からゆっくりと点灯します。

テストパターンを表示します。

データシグナルが途切れた時の動作を選択します。
ブラックアウト/ラストフレーム

コレクション



[Calibration]スイッチをONにすると
キャリブレーション効果が適用されます。

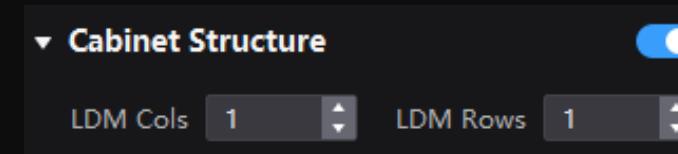
輝度を調整します。

調整に使用する映像を選択します。



- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Correction]を選択します。
- ②Seamsタブを選択し、 [Seam Correction]を選択します。
[Calibration]スイッチをONにするとキャリブレーション効果が適用されます。
- ③キャンバスから調整するモジュールを選択し、 [Select Mode]から調整方法を選択します。

コレクション

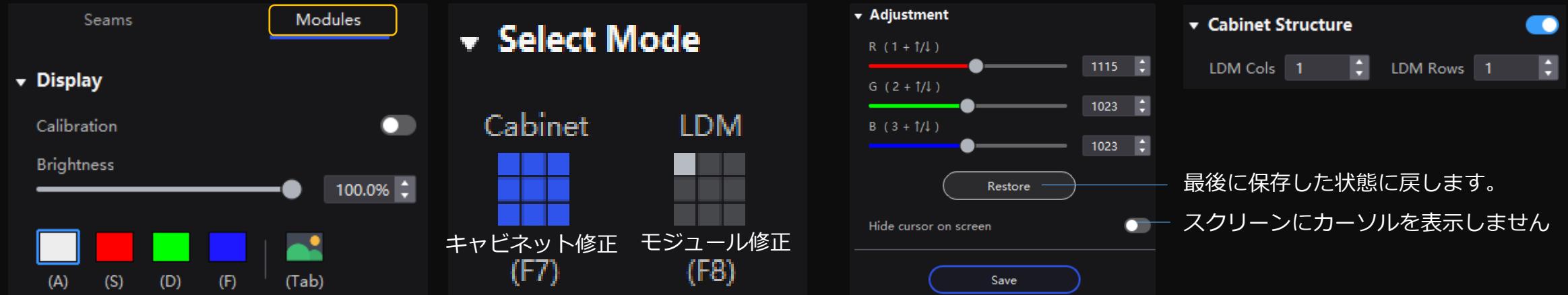


④マウスをスクロールして調整するか、キーボード[4 + ↑↓]で調整します。

⑤調整後は[Save]してください。

※表示されるモジュールの列数行数が異なる場合は、[Cabinet Structure]数値を設定します。

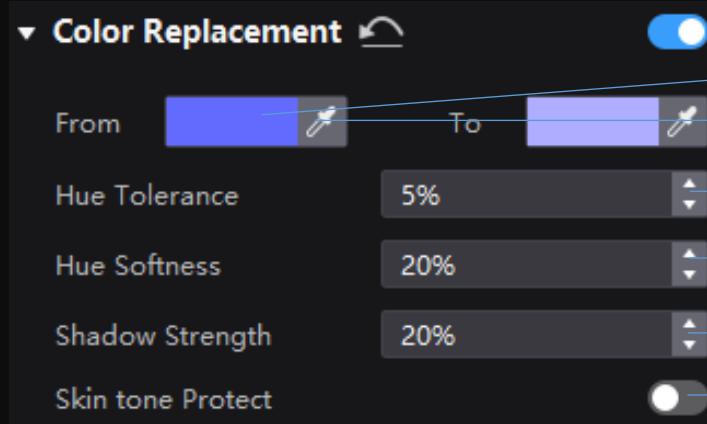
コレクション



- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Correction]を選択します。
- ②Modulesタブを選択します。
- ③キャンバスから調整するモジュールを選択し、[Select Mode]から調整方法を選択します。
- ④マウスをスクロールして調整するか、キーボード[1/2/3 + ↑↓]で調整します。
- ⑤調整後は[Save]してください。

※表示されるモジュールの列数行数が異なる場合は、[Cabinet Structure]数値を設定します。

プロセッシング Color Replacement



Hueの範囲を調整します。
Hueの柔らかさ調整します。
Shadowの強度を調整します。
肌の色を可能な限り元のままにします。

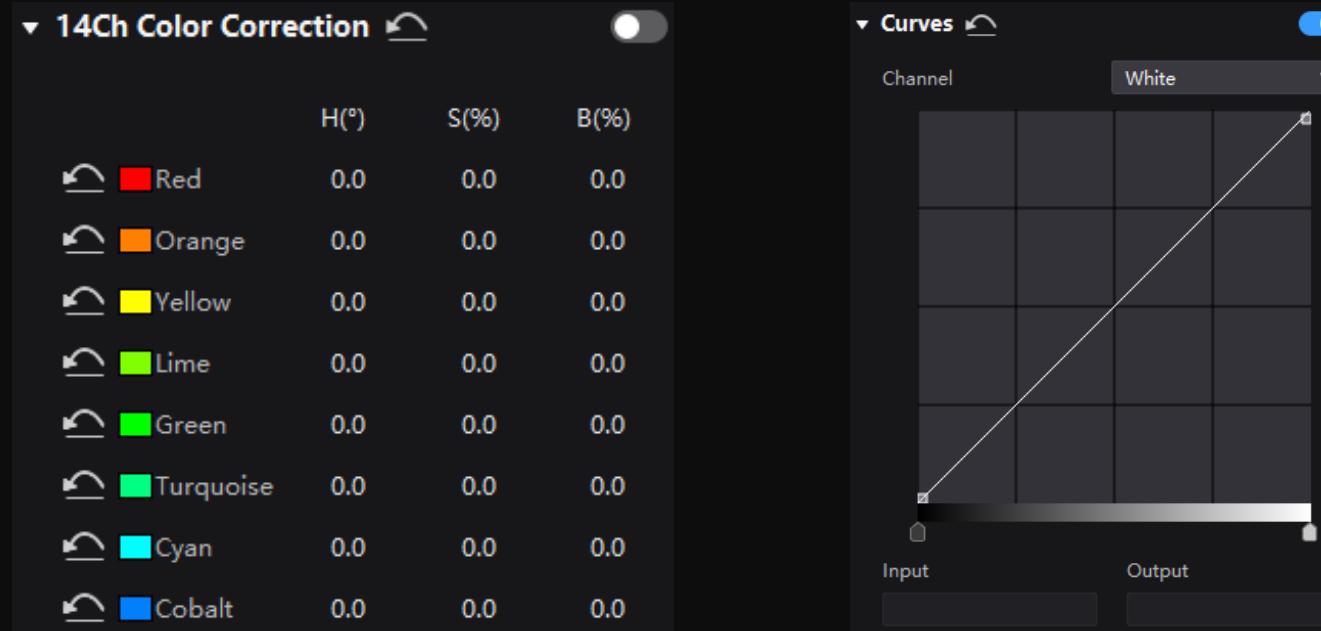


カラーパレット

スポット

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②Color Replacementを選択します。
- ③[From]から置換えたい色を選び、[To]置換える色を選びます。

プロセッシング CH Color Correction/Curves



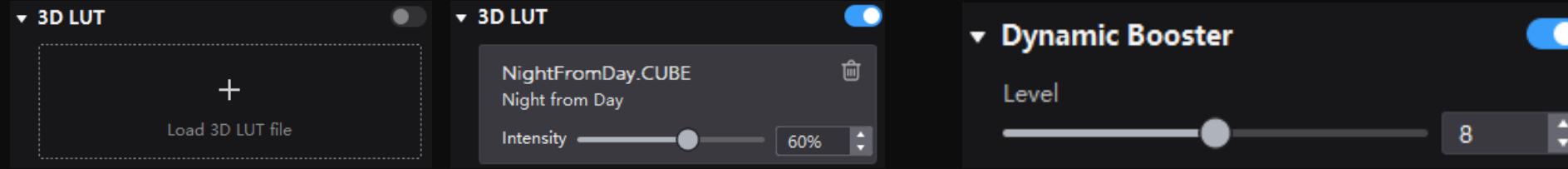
CH Color Correction

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②14Color Correctionを選択し、値を調整します。

Curves

- ②Curvesを選択し、[White][Red][Green][Blue]を調整します。

プロセッシング 3D LUT/Dynamic Booster



3D LUT

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②3D LUTを選択し、[Load 3DLUT file]を選択し.cubeファイルをローカルから読み込みます。
- ③スライダーをドラッグしレベルを調整します。

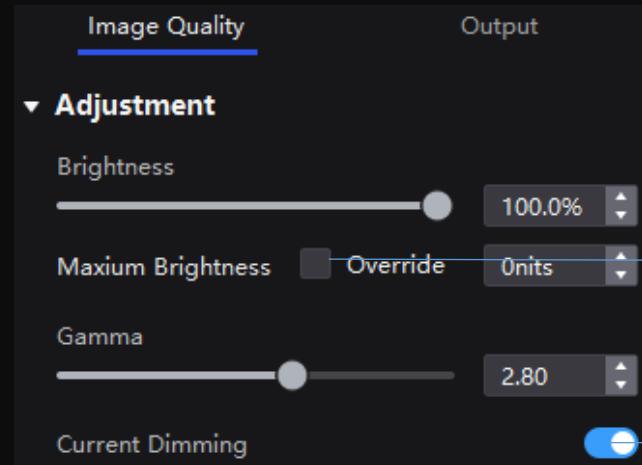
Dynamic Booster

- ①Dynamic Boosterを選択し、スライダーをドラッグしレベルを調整します。

*映像のコントラストを改善する機能

*A10sProレシーブカードが必要です

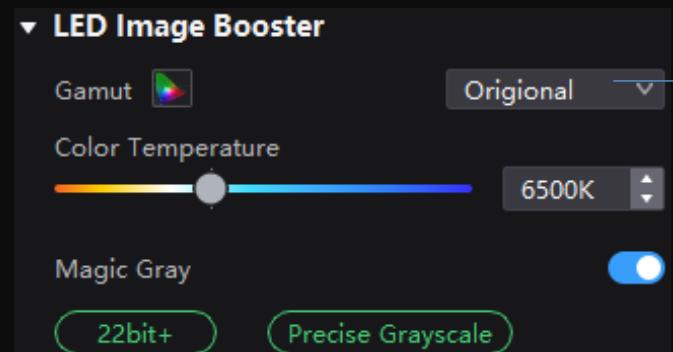
スクリーンセッティング Image Quality



[Brightness]
[Gamma]を調整します。

輝度が低い状態での
チラつきが改善されます。

輝度が低下しますが輝度が
低い状態でのチラツキが改
善します。



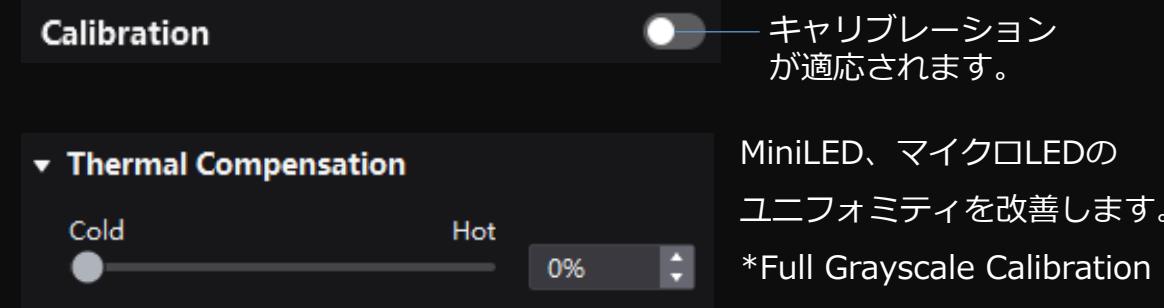
色域をドロップダウンして
出力色域選択します

色温度を調整します。

グレースケールが向上し鮮明な映像になります。

*Magic Grayファイル

A8s-N/A10sProレシーブカードが必要です



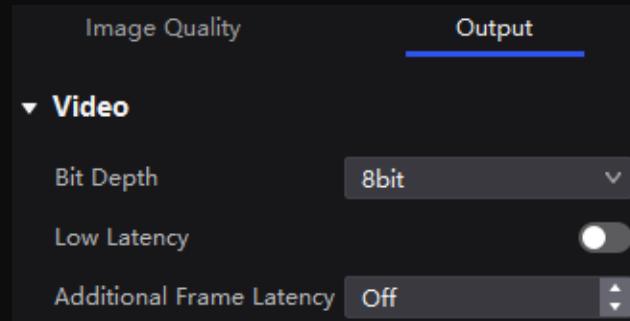
キャリブレーション
が適応されます。

MiniLED、マイクロLEDの
ユニフォミティを改善します。

*Full Grayscale Calibration
A10sProレシーブカード
が必要です。

シャドウ補正值を調整します。

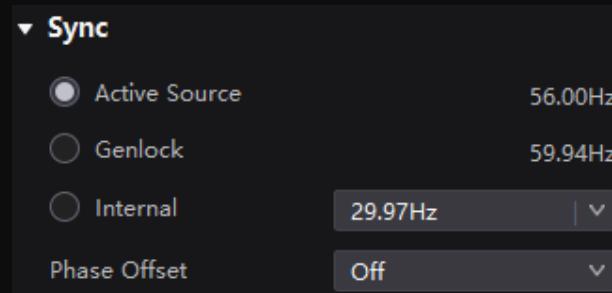
スクリーンセッティング/Output



ビットをドロップダウンで選択します。
Autoを選択すると入力ビットと同じになります。

低遅延モードになります。

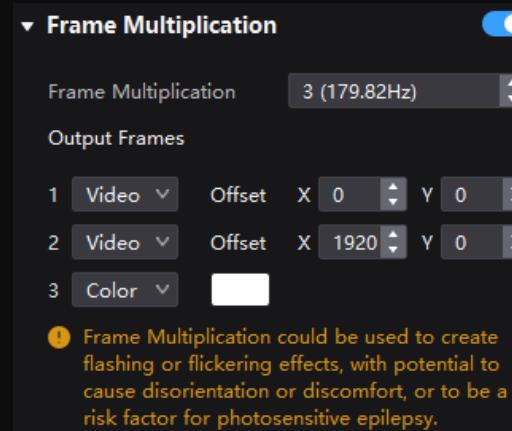
フレームを追加します。



入力ソースと同期します。

ゲンロックと同期します。

コントローラ内部のフレームレートと同期します。



1フレーム時間内に複数のフレームを出力し、それらを異なるカメラ出力します。

スクリーンセッティング/Output

▼ Shutter Fit

Mode Angle

Angle 90.000°

ディスプレイとカメラの
シャッターを合合わせる機
能です。

▼ 3D

Source Format Side-by-Side

Right Eye Offset 0

Eye Priority Left

3rd Emitter

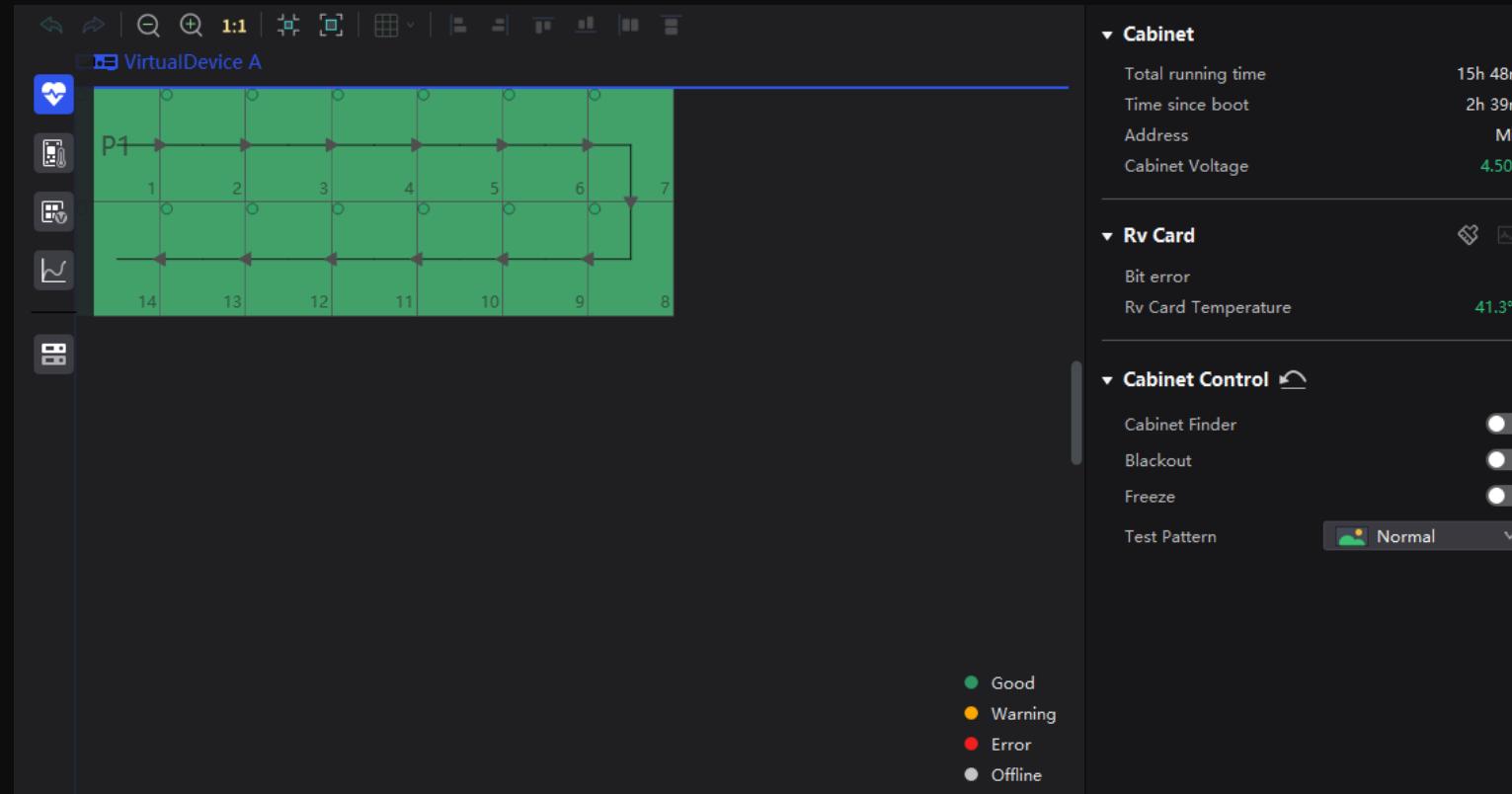
Emitter Delay 7000us

3Dパラメータを
設定します。



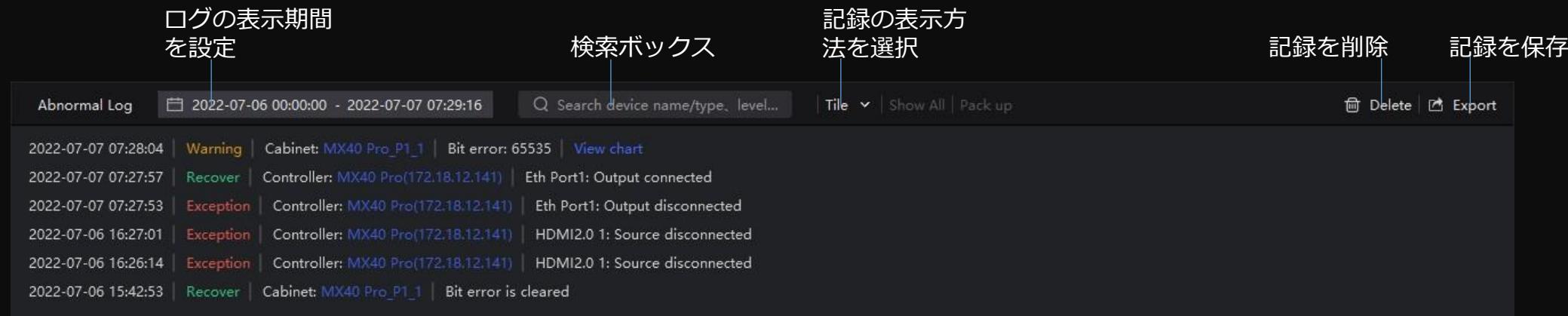
各ポートのキャパシティ
が表示されます。

スクリーンモニタリング



①ファンクションタブから[Monitor]を選択します。

スクリーンモニタリング



ログの表示期間
を設定

検索ボックス

記録の表示方
法を選択

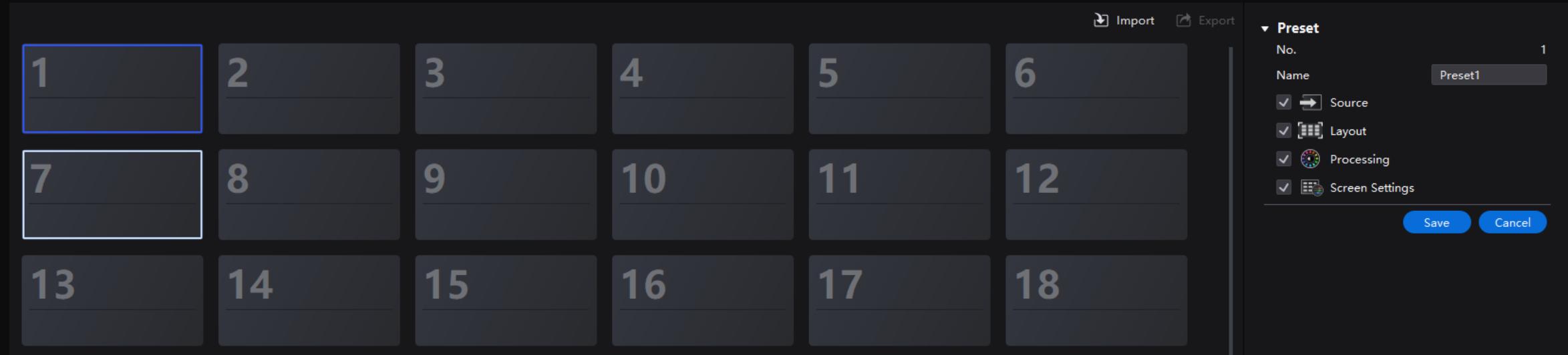
記録を削除

記録を保存

日付	状態	詳細
2022-07-07 07:28:04	Warning	Cabinet: MX40 Pro_P1_1 Bit error: 65535 View chart
2022-07-07 07:27:57	Recover	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) Eth Port1: Output connected
2022-07-07 07:27:53	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) Eth Port1: Output disconnected
2022-07-06 16:27:01	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) HDMI2.0 1: Source disconnected
2022-07-06 16:26:14	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) HDMI2.0 1: Source disconnected
2022-07-06 15:42:53	Recover	Cabinet: MX40 Pro_P1_1 Bit error is cleared

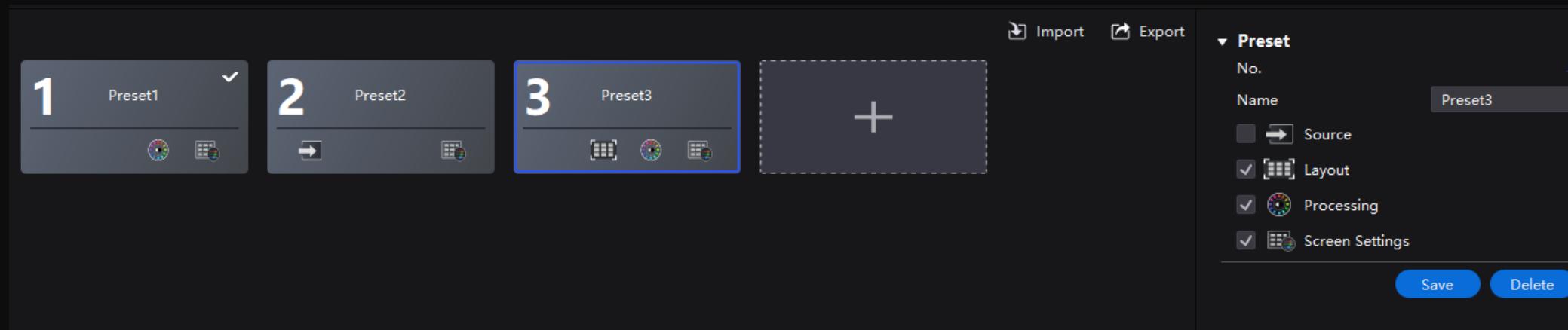
①ファンクションタブから[Monitor]を選択します。下部にあるログを確認します。

プリセット



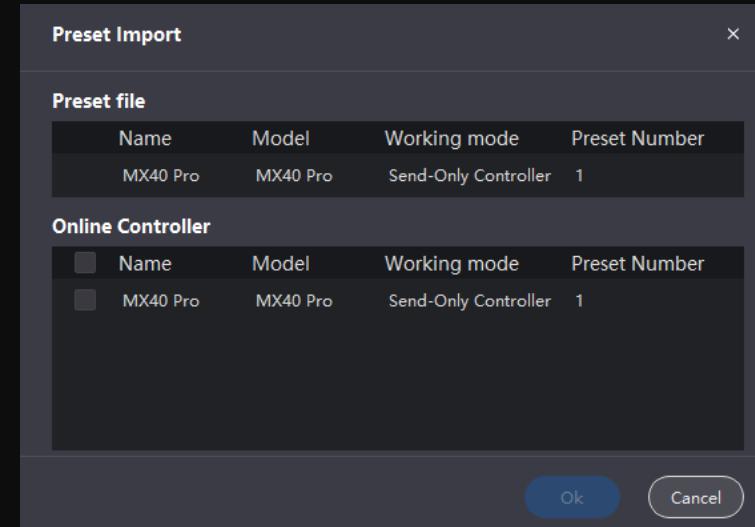
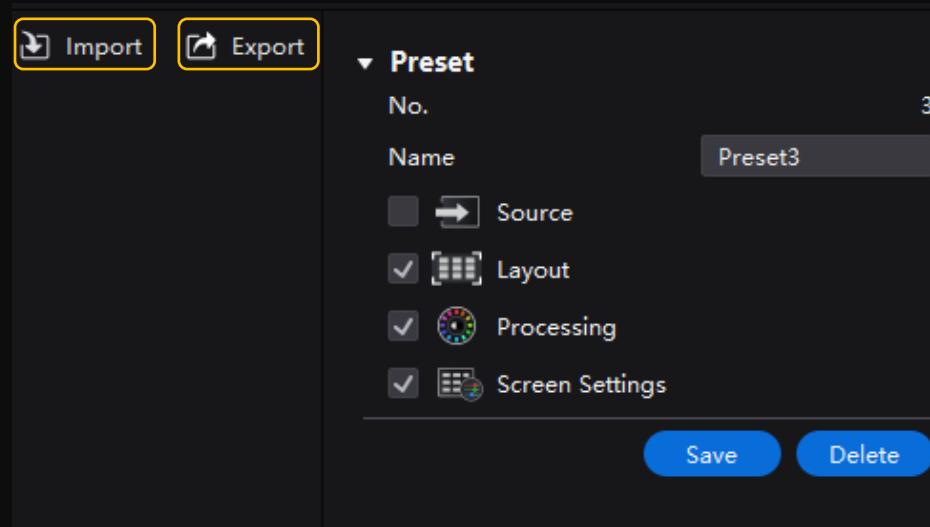
- ① ファンクションタブから[Preset]を選択します。
- ②  を選択するとプリセット画面が表示されます。
- ③ プリセットの名前を設定し、保存するデータを選択し、[Save]します。

| プリセット



- ④プリセットをダブルクリックすると呼び出すことができます。
- ⑤プリセットを選択しプロパティエリアで編集できます。
- ⑥プリセットを選択し[Delete]を選択すると削除できます。

プリセット



⑦[Export]を選択しプリセットを保存します。

⑤[Import]を選択しプリセットを開きます。

メンテナンス コントローラ

Device list

Manage

Search device name, IP, model

VirtualDevice A

VirtualDevice B

VirtualDevice C

VirtualDevice D

VirtualDevice E

VirtualDevice F

VirtualDevice G

VirtualDevice H

Controller Properties

MX40 Pro

Basic Information

Model	MX40 Pro	Free EMMC capacity	11.8GB
Controller SN	2HIA12528A3A10003424	Eth speed	1Gbps
Firmware	V1.0.0.S6.T3.0628	Time since boot	0d-0h-23min
IP address	172.18.12.141	Working mode	Send-Only Controller
MAC	54:b5:6c:09:17:dc		

Controller time: 2022-07-07 07:39:04

Time zone: UTC-03:00

Export Log

ログデータを表示するには専用のソフトウェアが必要です。

コントローラ時間変更

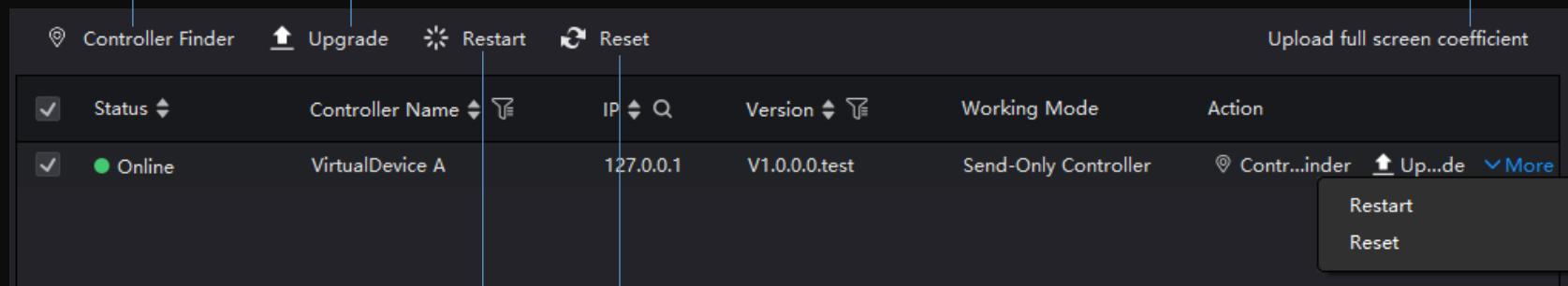
- ①メニュー バーから、[Tools] > [Maintain] を選択します。
- ② [Controller] を選択します。
- ③左側のデバイス リストからコントローラーを選択、右クリックするとプロパティが表示されます。

メンテナンス コントローラ

選択したコントローラの
LCD画面が緑色になります。

コントローラのファーム
ウェアをアップグレードし
ます。

フルスクリーンキャリブ
レーションデータをロード



コントローラ
リストア
リセット

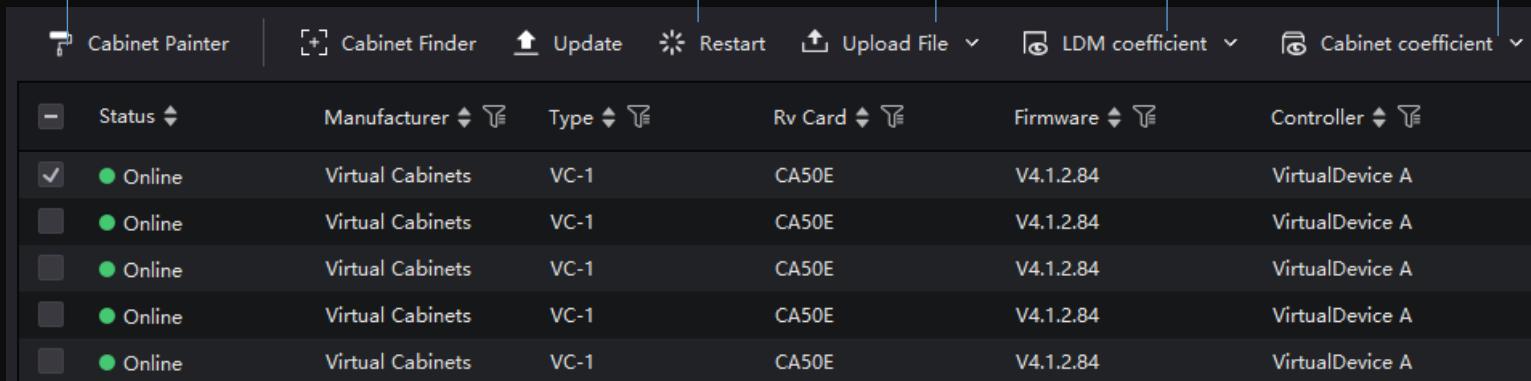
メンテナンス キャビネット

ファームウェアとrcfgx
ファイルを他のキャビネット
にコピーします。

キャビネット
リスタート

ファームウェア
とrcfgxファイル
をロードします。

キャリブレーション
データをロード/削除

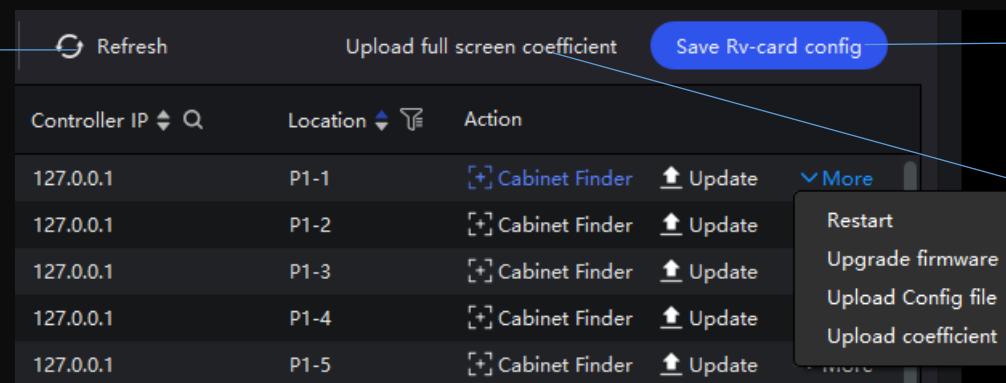


Status	Manufacturer	Type	Rv Card	Firmware	Controller
Online	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
Online	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
Online	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
Online	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
Online	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A

Save to LDM
モジュールのキャリブレーションデータを
レシービングカードに保存します。

Read to RV card
レシービングカードの
キャリブレーションデータを読み取ります。

キャビネット情報を
更新します。



Controller IP	Location	Action
127.0.0.1	P1-1	[+] Cabinet Finder
127.0.0.1	P1-2	[+] Cabinet Finder
127.0.0.1	P1-3	[+] Cabinet Finder
127.0.0.1	P1-4	[+] Cabinet Finder
127.0.0.1	P1-5	[+] Cabinet Finder

レシービングカードに
保存します。

フルスクリーンキャリブ
レーションデータをロード

More
Restart
Upgrade firmware
Upload Config file
Upload coefficient

プロジェクトファイル

エキスポート

- ①メニューバーの[Project]>[Export]>デバイスを選択します
- ②ローカルディレクトリに保存します。

インポート

- ①メニューバーの[Project]>[Import]>ローカルディレクトリからファイルを選択します。